

憲法・医療・くらし守ろう

国 労 水 戸

政治を変えよう参院選



今、勤労国民の生活は長引く円高やデフレ、税・社会保障などの負担等の厳しい経済の中で、安倍首相が「経済再生」を前面に掲げ、デフレ脱却と持続可能な経済成長実現のための政府・日銀政策連携について声

所得と雇用をふやそう

明を出しました。いつまで続くか分からない為替や株価の乱高下など、今こそ外需頼みの経済から脱却し国民生活擁護のため、消費税増税に頼らず内部留保を活用して内需拡大への転換を図ることが重要です。

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 大和田亨
編集責任者 坂本公則

もう一人の仲間を国労に
国労に加入を
大胆に訴えよう

賃上げと雇用拡大を
大企業の内部留保は260兆円です。1%を使うだけで月1万円の賃上げは可能です。



消費税に頼らない
増税するなら富裕層から徴収し、賃上げと安定雇用を確保して安定財源を確保できます。



本日(6月26日)、貨物会社は「2013年度夏季手当に関する要求」(国労闘申第15号)に対し、社員と家族の生活を無視した「1・1ヶ月分、7月10日支払い」の回答を行い、冒頭、会社は、回答予定日を大幅にずれ込んだことに対し、「回答が遅れたことに対し申し訳ない」と謝罪し「回答については社内議論を重ねた結果であり、貨物会社の置かれている厳しい現状を理解してほしい」と説明した。

これに対して本部は、「今回の回答は26年間、労使で積み上げてきた交渉経緯を全て反故にし、始めから結論ありきの姿勢であり不誠実極まりない」とした上で、「社員と家族の生活改善に背を向けるどころか、

これまで会社が示してきた生活の考え方も否定してきたものである。この超低額回答は、極めて社員のモチベーションを低下させ、会社がめざすとしている『鉄道事業の赤字圧縮』に向けた社員の頑張り大きく逆行するものである。3期連続で黒字を確保したのは、社員の頑張りであるとしながらも、会社は、その頑張りに対して報いるどころか、企業の論理だけを押し付けるものであり、生活破壊の回答は到底納得できるものではない。

よって「本日の回答については、改めて強く抗議をするとともに、社員が生活出来る一時金を支払うよう『再回答』を求めると抗議を行い本日の交渉を終えた。

「賃金削減反対、超低額回答を許さない7・1貨物総行動」について

- 1.日時2013年7月1日(月)11時~16時
- 2.行動内容

【Aコース(院内集会及びJR貨物本社要請)】

- (1)院内集会について11時~12時
集合場所10時45分集合・参議院議員会館入り口付近
地下鉄「永田町駅」下車徒歩3分
内容主催者挨拶・政党挨拶・決意表明・行動提起他
- (2)JR貨物本社要請について14時30分~15時30分
集合場所14時15分集合・四谷地域センター
地下鉄丸ノ内線「新宿御苑前」駅下車徒歩5分
内容JR貨物本社への代表要請(15時)及び意思統一集会和デモ

【Bコース(国交省及び鉄道・運輸機構)】

- (3)国土交通省へ要請(署名提出)及び宣伝行動13時~13時40分
要請先国土交通省
集合12時50分集合・国土交通省正門前
内容要請(署名提出)及び宣伝行動